



2019年1月28日

**“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり”**  
**今年で27年目！「バレンタイン・チャリティ募金」を実施**  
今年のキャッチフレーズは“義理より人情！”

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）が国際貢献活動の一環として始めた西アフリカ・マリ共和国の難民支援を目的とした「バレンタイン・チャリティ募金」活動が、1993年のスタートから今年で27年目を迎えます。

この活動は、職場の儀礼的な義理チョコの配布を「もっと有意義な目的に使えないか」と考えた女性社員の発案によって始まった自発的な募金活動で、バレンタインデーの義理チョコやホワイトデーのお返しにかかる費用の一部を自粛して一口500円を募金しようという活動です。まさに“義理チョコ、あげたつもり・もらったつもり”で国際貢献というものです。

今年のキャッチフレーズは、義理チョコより人助けということで“義理より人情”にきまり、以下の日程で募金活動を実施します。

- 実施期間：2019年1月29日（火）～2月14日（木）
- 対象：全国の共栄火災社員、関連会社社員



職場で募金を呼びかける女性社員

集まった募金は毎年、NGO「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」（以下、マザーランド・アカデミー）を通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプにおける植林費用や医療品購入費用、水田拡張事業などに活用されています。今年の募金活動は、昨年引き続きマザーランド・アカデミーがマリ共和国のサハラ砂漠南端地域にある難民キャンプで取り組む水田作りに役立ててもらおう予定です。

この活動は1993年に開始されて以来途絶えることなく続けられ、今年で27年目を迎えます。今ではすっかり社内に定着し、「社会貢献になるうえに、義理チョコの準備やホワイトデーのお返しに悩むことから解放される」と社員の多くから歓迎されています。



水田づくりの様子(マリ共和国) ※写真提供はマザーランド・アカデミー・インターナショナル

以上

## 参考資料

### ■「バレンタイン・チャリティ募金」をはじめとした国際貢献活動について

当社がこのようなチャリティを実施するきっかけになったのは、1992年の創業50周年記念事業の一環として実施した女性社員の制服の改定でした。廃棄する予定としていた約7,000着（段ボール300個分）をマザーランド・アカデミーを通じて、西アフリカ・マリ共和国の難民キャンプに贈りました。数ヵ月後、現地の様子を伝える写真や記録が送られてきました。自分たちが慣れ親しんだ制服を着た子供たちの写真を見て多くの女性社員たちが感激、「こうしたことで役に立つのなら、何かもっとほかにもできることはないだろうか」という話し合いがもたれ、女性社員有志により自発的に「ボランティア推進チーム」が結成されました。

そして、ボランティア推進チームの発案から、バレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使用すると1993年に「バレンタイン・チャリティ募金」が生まれました。

当社では「バレンタイン・チャリティ募金」のほかに、毎年12月に衣類・文房具・おもちゃ・医薬品などの物資による支援を目的とした「クリスマス・チャリティ」を実施しており、両活動を当社の国際貢献活動の2本柱として今後も積極的に取り組んでまいります。

### ■「マザーランド・アカデミー・インターナショナル」について

マザーランド・アカデミー・インターナショナルは、命の等しさ尊さを子供たちに伝える過程が「教育」そのものだと考えた母親たちが、家でも学校でも地球上のどこにいても、当たり前を行動に移せる子供を育てる事を目指して「命の等しさ尊さを行動で子ども達に伝える母の会」として1982年に活動を開始しました。世界で最も支援が必要であると国連が指定している国々や地域へ確かな支援ルートを持っており、年間約10便（船便）で物資を送っています。

マザーランド・アカデミー・インターナショナル  
（命の等しさ尊さを行動で子供たちに伝える母の会）  
代表：村上章子 氏

【本部事務局】〒140-0004 東京都品川区南品川 5-16-14  
TEL:03-3450-5829 (対応時間平日 21:00~22:00) / FAX:03-5461-8929 (24 時間受付)

## ■バレンタイン・チャリティ募金の実績

1993年2月	第1回	： 約 200 万円を西アフリカの井戸掘りの資金として寄付
1994年2月	第2回	： 約 200 万円を西アフリカの「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」の建設資金として寄付
1995年2月	第3回	： 約 110 万円を西アフリカの「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」で活用するランプ、黒板などの備品購入資金として寄付
1996年2月	第4回	： 約 130 万円を西アフリカの植林費用として寄付
1997年2月	第5回	： 約 150 万円を西アフリカの植林費用として寄付
1998年2月	第6回	： 約 130 万円を西アフリカの植林費用として寄付
1999年2月	第7回	： 約 110 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2000年2月	第8回	： 約 120 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2001年2月	第9回	： 約 96 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2002年2月	第10回	： 約 84 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2003年2月	第11回	： 約 69 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2004年2月	第12回	： 約 51 万円を西アフリカの植林費用として寄付
2005年2月	第13回	： 約 118 万円を西アフリカの植林費用として、またスマトラ島沖地震の支援金として寄付
2006年2月	第14回	： 約 69 万円西アフリカの植林費用として寄付
2007年2月	第15回	： 約 173 万円を西アフリカの植林費用および医薬品購入費用として寄付
2008年2月	第16回	： 約 226 万円を 1994 年に建設した「くすりハウス（医薬品保管庫兼学習所）」の建替えおよび医薬品の購入費用として寄付
2009年2月	第17回	： 約 255 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2010年2月	第18回	： 約 150 万円を西アフリカの水田づくり費用として、またハイチ大地震の支援金として寄付
2011年2月	第19回	： 約 180 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2012年2月	第20回	： 約 190 万円を西アフリカの水田づくり費用として、また東日本大震災の被災地支援を目的に寄付
2013年2月	第21回	： 約 170 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2014年2月	第22回	： 約 155 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2015年2月	第23回	： 約 164 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2016年2月	第24回	： 約 156 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2017年2月	第25回	： 約 170 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
2018年2月	第26回	： 約 185 万円を西アフリカの水田づくり費用として寄付
<b>現在までの総合計</b>		<b>約 3, 8 1 1 万円</b>